

三島中学校 学校通信7月号

令和8年7月8日発行

四国地方は梅雨入りをしており、湿度が高く過ごしにくい毎日となっています。夏休みまであと2週間となりました。疲れていませんか？体調をくずさないように毎日を過ごしてください。

さて、6月は県総体西部ブロック大会がありました。三年生にとっては最後の大会となる大事な大会でした。団体戦には、女子ソフトテニス部と女子卓球部が出場しました。女子ソフトテニス部は、一回戦で惜敗しましたが、女子卓球部は団体優勝で県総体出場を決めました。また、卓球部は個人戦でも男子2名、女子4名が県総体に出場します。おつかれさまでした。県総体卓球競技は、7/18（土）に団体戦、7/19（日）に個人戦が行われます。応援よろしくお願いいたします。

話題は変わりますが、6月23日（火）、沖縄県糸満市摩文仁（まぶに）の平和祈念公園にて、「令和8年沖縄全戦没者追悼式」が行われました。今年で沖縄戦終結から81年です。沖縄戦とは、日本の本土で行われた唯一の地上戦です。太平洋戦争の末期の1945年4月、米軍は沖縄県首里（しゅり）にある日本軍司令部をめざし、沖縄本島に上陸を始めました。このとき、今の中高生にあたる男子学生は通信兵や斬り込み要員として、ひめゆり学徒隊のような女子学生は補助看護婦として動員されました。米軍の攻撃を受けた日本軍は沖縄本島南部に逃げるも敗北。7月に米軍が戦闘終了を告げるまで、沖縄にはおびただしい数の犠牲者が出ました。この追悼式では、毎年、沖縄県の児童・生徒の代表が「平和の詩」を朗読します。今年は、沖縄県豊見城市立豊崎中学校2年の亀谷琉奈さんが「生きたいと願った証」と題した「平和の詩」を朗読しました。私は、毎年この「平和の詩」の朗読を聞くことにしています。「戦争」という人権を無視した出来事により、人間の尊い命が数多く奪われた悲惨さや恐ろしさ、二度と戦争を起こしてはいけないという気持ち、戦争は「人間が人間でなくなる」ということをあらためて感じさせられます。みなさんもぜひ一度、この沖縄全戦没者追悼式で朗読される「平和の詩」を聞いてみてください。

もうすぐ夏休み。体調に十分気をつけて、ラストスパートにがんばりましょう。

三島中学校長 松永 貴史

【7月の予定】

- 3日（金）職場体験学習（3年）、脊柱側弯症健診（1年）
スクールカウンセラー来校
- 9日（木）認知症サポーター養成講座（3年）
- 10日（金）漢字検定
- 13日（月）実力テスト（全学年）
- 15日（水）集金引き落とし日
- 17日（金）夏休み前集会
- 18日（土）県総合体育大会（卓球女子団体）
- 19日（金）県総合体育大会（卓球個人）
- 20日（月）海の日
- 21日（火）教育相談（～24日まで）



頑張った西部ブロック総合体育大会！

6月12日（金）・13日（土）、西部ブロック総合体育大会が行われました。それぞれの部活で、自分たちのできる力を発揮し、活躍する姿が印象的でした。男女卓球部は、県総体に向けて練習が続いています。

☆☆☆6月の学校生活の様子☆☆☆

西部ブロック総合体育大会



生活習慣病予防教室



薬物乱用防止教育



～みんなの生活記録から～

◎人権作文を書き終えて、改めて平和の大切さや人権について考える大切な機会になりました。

◎人権作文を書き終えて、平和とは戦争が起こらないことと、いじめや偏見、差別をしないことだとわかりました。

◎職場体験を通して、働くことの楽しさ大変さを学ぶことができた。いつも大変な仕事をしている親に感謝しようと思った。

◎職場体験先の先生方の指導には、厳しさもあったけれど、しっかり愛がありすごいなと思った。今回の職場体験学習を元に、これから自分の将来について考えていきたい。